



こんにちは日本共産党です 八千代市議団ニュース

堀口 明子 ☎047(752)0453 植田 進 ☎047(487)9754
伊原 忠 ☎047(488)7207

市議団ホームページ <http://jcp-yachiyo.jp/>
共産党控室メール kyousan@city.yachiyo.chiba.jp



第319号

2017年5月29日

発行

日本共産党
八千代市議会議員団

八千代市大和田新田
312-5

新市長として公約実現の責任

八千代市長選挙で服部友則氏（自民党推薦）が当選し26日市長に就任しました。服部氏は選挙公報で前市政を「財政難を解決できず市民サービスを削る」と批判するとともに、「小学校での放課後教室の拡充」、「保育所施設整備、保育士拡充対策」、「小・中学校の洋式トイレ化とエアコン整備」、「東葉高速鉄道の運賃値下げ」など、これまで市民が請願などで求めてきた要求を公約に掲げました。

選挙での公約は、当選後実現すべき政策を有権者と約束したものです。公約の実現は、政治家としての責任であり、選挙制度の根幹をなすものです。

公開質問の回答に反する市庁舎整備

選挙公約には、選挙公報や個人ビラなどの外に、市民団体からの公開質問に回答したものもあります。服部氏は全日本年金者組合八千代支部からの7項目にわたる公開質問の一つ「市庁舎整備は『耐震化など必要な補強』を優先し住民の合意ですすめる」との質問に、「賛成」に○をして回答しています。

ところが服部氏は当選後の記者会見で「建て替えるべきだ」（「朝日」22日付）、「建て替えの方がよいと思う」（「千葉日報」27日付）などと述べています。

市長として説明責任を果たさずにみずからの回答を反故にすることは、公約違反のそしりを免れません。

阿蘇・米本学校問題は住民の納得を

阿蘇・米本地域の小中一貫校問題で「阿蘇の地域と学校を考える会」からの公開質問状に服部氏は、「小中学校の統合や分離はそれぞれの学校に通う子ども達と保護者の理解がなにより必要であると考えます。そうでなければ、良好な環境とは言えないからです。まずは市側が丁寧な説明が必要であり、関係者の声を充分聴いて納得していただくことが大切であると考えます。」と回答しています。



この回答は“住民が納得しなければ学校問題を強行実施しない”ということが前提でなければ単なる空約束です。米本団地の自治会や保護者を中心に「団地から小学校をなくさない」署名運動が取り組まれています。新市長には回答の通り、住民が納得できる学校づくりを強く望みます。